

行田市立東小学校

足袋の生活



全学年

特色

- 全学年で1年間、足袋履きの生活を送っている。足袋は、校舎内外共通で使用できるゴム底のおまつり足袋を使用している。
- 登校後、くつ下から足袋に履き替える。朝マラソンや業間休みの外遊び、運動会等の行事も足袋履きで活動している。
- 短距離走やサッカーを行う場合には、靴に履き替える。

児童の感想

- たびをはくときは、こはぜをとめます。さいしょはむずかしかったけれど、じょうずにはけるようになりました。
- 足袋をはくと足が軽くて、校庭を走ると足の裏が気持ちいいです。足のつき方が変わって、足が速くなったような気がします。
- 行田の足袋が、むかしみたいにもっと広がってほしいです。

成果

- 足袋の生活を送ることで、足の成長を含めた健康全般についての意識が高まった。欠席数が減ってきている。
- 足袋履きのルールを守り、生活のリズムが整ってきている。
- 日本の文化や行田の伝統産業に誇りを感じるようになった。
- 保護者や地域、社会の方々と足袋を通じての交流が広がった。